

平成二十六年 度

第二十八回 入学式 式辞

新入生の皆さん、日根野高校へようこそ。私たち教職員・在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎し、祝福いたします。

本校自慢の桜も満開の時期こそ過ぎましたが、まさに春爛漫のこの佳き日、大阪府教育委員会（学校総務サービス課 総括主査 町谷重男様）をはじめ、後援会、PTAのご来賓の皆様のご臨席を賜り、大阪府立日根野高等学校第28回入学式を挙行できますことは、大変心強く喜ばしいことであり、感謝に堪えません。高いところからではございますが、心より厚く御礼申し上げます。

28期生の皆さん。十五歳の大きいなる挑戦を乗り越え、またひとつ成長されましたね。皆さんは、自らの意志で日根野高校を志望し、自らの力で見事に合格されました。その決断力と努力に対し、今一度、皆さんに、おめでとう、そして、よく頑張りましたとお祝いを申し上げます。

さて、これからの高校生活にあたり、皆さんに大切にしていたいただきたいものが三つあります。一つ目は「感謝する心」、二つ目に「自分自身」、そして三つ目が「時間」です。ではさっそく、「感謝する心」からお話しを始めたいと思います。

皆さんどうでしょう。感謝するといっても、いったい誰に何を感謝すればいいのか、今すぐ頭に浮かびますか。そうですね、今なら多くの皆さんが、大変だった受験勉強を思い出して、支えてくれた家族の皆さん、親身になってアドバイスをくださった先生方、心が折れそうになった時、励まし合った友だち。こういった人達の顔が浮かんでくるのでしょうか。そうですね。そうですね。感謝の心を持つには、まず、感謝したい人がいないとどうにもなりません。当たり前ですよ。でもどうすれば感謝したい人ができるのでしょうか。実はこれはとても簡単で、受験勉強がそうだったように、とにかく本気で何かに取り組んでみる、そういうことなんです。人が本気で何かをしようとしたとき、出会い関わった人の数だけ感謝の心を持てるチャンスがやって来ます。そして、それをやり遂げた時、深い達成感とがんばった自分を支えてくれた人達への感謝の心が生まれます。さらに、その心が相手に伝わった時、皆さんの満足感は一気に何倍にも膨らむことでしょう。いいでしょうか。まずは皆さんの人と出会い、いろんなコトにぶつかり、本気で取り組める何かを見つけてみましょう。これが感謝し感謝されるという豊かな人生への出発点です。ただ、これって結構難しいですよ。やりたいことがなかなか見つからなくて迷いに迷うのが人間ですから。でも、焦らなくていいです。見つけようとし続けることが新しい出会いを引っ張ってきて

くれますから。

私からは一つだけヒントを言っておきます。そうは言っても何かから始めていいのか良く分からない、という君へ。まず部活をしよう。この学校には良い部活がいっぱいあります。きつとそれがいるんな世界への入口になってくれると思います。勉強が皆さんの本分であることは間違いないのですが、それだけじゃちよつと寂しいですもんね。

次に「自分を大切にすること」について、お話します。

自分を大切にするといいかもしれませんが、それは誰より自分が一番大事、という自己中心主義を申し上げているわけではありません。まあ自分はこんなもんだろう、と急いで結論付けてはいけなないと申し上げたいのです。皆さんの可能性は無限大です。また、日根野の生徒は、全員が間違いなく、やればできる子です。ただ、時々その無限の可能性が時間とともに縮んでしまうことがあります。自分で自分の価値を小さくしてしまうことがあります。これはもったいない話です。なんでこんなことが起こるのでしょうか。たぶんそれは自分の大切さが自分でよく分かっているからだと思います。じゃ一体、どうすれば自分の大切さが分かるのでしょうか。難しい問題ですが、私はこう考えます。つまり、しっかりとした目標を持ち、自分のためというよりも、むしろ誰かの幸せの為に役立っていると感じる時、そんな時、私達は自分の重要性を理解し、自分が大切なものに思えてくるのではないのでしょうか、私はそんなふうに思います。方法はいろいろあると思いますが、とにかく自分が大切に思える為に何をすればいいのか、今日からいっしょに考えていきましょう。自分をあきらめない。自分だけでなく誰かのためにも生きる。大事なことだと思います。

最後に「時間を大切にすること」についてお話します。

先ほど皆さんには無限の可能性があると申し上げましたが、それを裏付けているのが、皆さんが持っているたっぷりとした時間です。私たち年長の者にすれば羨ましい限りです。ただし、注意して欲しいことがあります。時は刻んでいけば、何かの価値に置き換わっていきます。例えば、知恵や知識であったり、技能や技術であったり、友達や財産であったりするわけですが、少し油断して、時に流されてしまいますと、何の価値にも置き換わらず、ただただ浪費されていきます。またまたもったいない話ですよ。もちろん長い人生、ぼんやりと流されていくことも時には必要です。でも、これは特別な時間として大事に取っておいたほうがいいと思います。ですから時間は大切にしてください。

ひとつだけ、とっておきの秘訣を言います。時間に流されないための鉄則、約束した時間は必ず守りましょう。学校で言えば遅刻をしない、ということになります。これは今も、そしてこれから大人になっても一番大切なことで、誰かから本当に信用されたい、と思うなら、「いついつまでに何々する」という時間の約束を絶対に破ってはいけません。逆に、破ってしまえば即、信用を失うことになるでしょう。ひとの段取りを壊す当てにならない人間だと判断されるからです。ちよつと重たいめの話になりましたが、このことは忘れな

いようにしてください。

さて、保護者の皆さま、改めましてお子様のご入学、誠におめでとうございます。今日まで限らない愛情を持って育ててこられ、時には「心配や」「苦勞があったことと存じます。私達は、そのお心にお応えすべく、若者達に、夢とそれに挑戦する勇氣と、それを支えてくれる人々への感謝の心を伝えていきたいと思っております。そして、お子様の高校生活が健康で光り輝くものとなるよう教職員一同、全力を傾け邁進する覚悟でございます。

これからの三年間、厳しいこと、つらいこともあるかと思えます。しかしそのような時こそ、皆様方のあたたかいお心が、何よりも生徒たちへの励ましになると思えます。お子様一人ひとりが心身共に豊かに成長していくために、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さあ、新入生の皆さん。皆さんの周りをもう一度よく見てください。君たちの門出を心からお祝いしたくて、たくさんの人が集まってくれました。この人たちは皆さんの大応援団です。皆さんの成長と幸せを本当に願っている人たちです。ですから安心して思い切りいろんなことに挑戦してください。少々失敗しても大丈夫です。失敗しない人なんていませんし、ここにいる全員がバックアップし合いながらみんなで前進していくのです。絆とこのはそういうことを言います。

最後になります。日根野高等学校28期生全員が、この学校でたくさんの友と出会い、新しい経験を積み上げ、そして、高い志を持って夢に挑戦する、そんな高校生活を送られることを祈念して、学校長の式辞と致します。

平成二十六年四月八日

大阪府立日根野高等学校長

岸野 圭吾